

令和元年度 総合防災訓練計画概要

1. 訓練の目的

本訓練は、核燃料サイクル工学研究所原子力事業者防災業務計画（以下「防災業務計画」という）及び再処理施設保安規定に基づき実施するものである。

本訓練においては、原災法対象の複数施設で EAL 事象が発生した際の原子力防災組織の機能の有効性を確認するとともに国、自治体等への通報連絡が迅速に行われることの確認及び前年度から改善を図った事項の有効性を確認することを目的とする。

訓練全体に設定した目標は以下のとおり。

- ① 「事象進展対策シート」、「発生事象状況確認シート」等の視覚情報を用い機構内外に正確な情報提供ができること。
- ② 現地対策本部は、各発災施設の現場対応班と簡潔に短時間でブリーフィングし、発生事象の対応策について機構内で情報共有できること。

- ③
 - ④
 - ⑤
- シナリオを含むため非開示

2. 実施日時及び対象施設

(1) 訓練日時

令和 2 年 1 月 14 日 13 : 10 ~ 16 : 30 (予定)

(2) 対象施設

- シナリオを含むため非開示

3. 実施体制、評価体制及び参加人数

(1) 実施体制

シナリオを含むため非開示

(2) 評価体制

前回の訓練で抽出された課題に対する改善策の有効性を評価するためのチェックシートを作成し活用する。また、研究所内外から選出された訓練モニタ及び外部機関の有識者により、第三者の視点から課題の抽出を図るとともに、訓練参加者による反省会等を通して実施状況进行评估する。

(3) 訓練参加者

① 研究所内従業員

シナリオを含むため非開示

・上記以外の従業員等

② 機構対策本部要員

③ 訓練モニタ

4. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

シナリオを含むため非開示

5. 防災訓練の項目

総合訓練、個別訓練

以上